

## 平成29年度小牧市歴史館運営委員会議事録

- 1 開催日時 平成30年2月19日（月）午後1時30分から3時10分
- 2 開催場所 小牧市役所東庁舎2階 会議室2-3
- 3 出席委員  
池田洋子                      和田学                      西川菊次郎  
山内均
- 4 説明のため会議に出席した者  
生涯学習課長 岩本 淳                      文化財係長 浅野友昭  
小牧市施設活用協会 主査 清田 憲司
- 5 報告  
(1) 小牧市歴史館の運営状況について  
(2) 小牧市歴史館の企画展示について  
(3) (仮称) 史跡センターについて
- 6 議題  
(1) 平成30年度小牧市歴史館企画展示（案）について  
(2) 小牧市歴史館展示改装（案）について
- 7 会議資料  
議事次第  
小牧市歴史館運営委員会委員名簿  
小牧市歴史館の設置及び管理等に関する条例（抜粋）  
小牧市歴史館の管理等に関する規則（抜粋）  
資料1 小牧市歴史館の運営状況について  
資料2 小牧市歴史館の企画展示について  
資料3 平成30年度小牧市歴史館企画展示（案）について  
資料4 小牧市歴史館展示改装（案）について
- 8 会議の傍聴人                      1名

(午後1時30分開会)

事務局（浅野文化財係長）

みなさんこんにちは。定刻になりましたので、ただ今から平成29年度小牧市歴史館運営委員会を開催させていただきます。

本日はご多忙のところ、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

さて、このたび平成29年4月の機構改革によりまして、文化振興課が生涯学習課に統合され、この委員会の事務局は生涯学習課文化財係となりましたので、よろしく願いいたします。本日浅井委員がまだお見えになっていませんが、追って駆けつけていただければと思いますので、よろしく願います。

なお、この会議につきましては、小牧市審議会等の会議の公開に関する指針に基づき公開するものとしており、本日の傍聴者は1名お見えになります。なお、議事録につきましては、発言内容、お名前とも、小牧市のホームページにて公開しますので、ご承知おきください。

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。次第の1としまして、生涯学習課長の岩本よりごあいさつを申し上げます。

事務局（岩本生涯学習課長）

みなさんこんにちは。2月も半ばを過ぎまして、今年度も終わりに近づいてきております。本日はお忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。さて、現在小牧市歴史館は、施設活用協会が指定管理者として、管理・運営を行っておりますが、平成30年度からは一般財団法人こまき市民文化財団が指定管理者として、管理・運営を行ってまいります。こまき市民文化財団は、昨年4月に市民による市民のための文化財団をモットーとしまして、文化芸術の振興、生涯学習の推進を目的に設立したところであり、歴史館についても今まで以上に、多くのみなさまに喜んでいただける施設となっていく必要があります。本日は平成29年度の実績などについて報告をさせていただきます。また、平成30年度の事業案についてご意見をいただきたく存じます。史跡小牧山の発掘調査、そして整備も着々と進んでいるところであり、歴史館の役割も重要になってまいります。多くの方に訪れていただける歴史館となりますようにご指導、ご協力をお願いいたしまして、私からのごあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局（浅野文化財係長）

それでは、次第の2「委員長の選出」についてであります。小牧市歴史館運営委員会の委員長におきましては、前任の池田洋子委員が平成29年10月31日で任期が満了し、引き続き11月1日から再任をいただいておりますが、

11月1日以降委員会を開催しておりませんので、現在委員長につきましては不在となっているところでございます。このため、改めて委員長の選出をお願いするものであります。お手元の資料にも付けておりますが、小牧市歴史館の管理等に関する規則第8条に「委員会に委員長を置き、委員の互選によってこれを定める。」とあります。委員長の選出についてどなたかご発言がありましたらよろしく申し上げます。

委員（和田委員）

事務局の方で腹案がありましたら、お願いしたいと思います。

事務局（浅野係長）

ただ今、和田委員から事務局の腹案はあるかとの提案をいただきましたが、いかがでしょうか。

（異議なし）

それでは、事務局からの案をご提案申し上げます。

委員長は、池田委員に引き続きお願いしたいと思っております。また、委員長職務代理者におきましては、本日まだお見えになっておりませんが、引き続き浅井委員にお願いしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

（採決をとる 異議なし）

ありがとうございます。それでは、歴史館運営委員会委員長は池田委員、委員長職務代理者につきましては浅井委員に決定させていただきます。よろしくお願いいたします。池田委員につきましては席の移動をお願いします。

（座席移動）

それでは、次第の3「委員長あいさつ」をお願いしたいと思います。池田委員長よろしくお願いいたします。

委員長（池田委員）

池田です。よろしくお願いいたします。みなさんのご意見をいただいて、どんな方針にするのかという形をとっていきたいと思っておりますので、みなさんの活発なご意見をいただきましてお助けくださるよう、お願いいたします。

事務局（浅野文化財係長）

ありがとうございました。

それでは議事に入りたいと思います。ここからの進行は、池田委員長にお願いします。よろしくお願いいたします。

委員長（池田委員）

それでは、次第の4「報告」に入ります。報告（1）「小牧市歴史館の運営状況について」事務局からの説明を求めます。

事務局（清田主査）

（資料1に基づき報告）

委員長（池田委員）

ありがとうございました。事務局からの説明は終わりましたが、これより質疑に入りたいと思います。何かご意見やご質問がありましたらよろしく願います。

山内委員

昨年4月に日本城郭協会というところで続日本100名城に選定され、これは歴史的に意味のあるお城としてランクインしたということですね。要は200あるうちの1つに選ばれたということで画期的なことです。愛知県には日本100名城が、名古屋城、岡崎城、犬山城、長篠城。続日本100名城が小牧山城、新城市にある古宮城、豊橋市にある吉田城があります。清洲城はまだランクインされていません。歴史的に意味のあるということは、簡単に言うと信長が作ったということで、信長が作ったことに歴史的な意味がある。何のために作ったのかというのは、天下取りを目指して作ったということが評価されたようです。清洲城そのものは守護所であり、清洲織田家のものであり、それを那古野城にいた信長が入って、いろいろ修正を加え、今あるお城とは全く違ったものということで、そこはみなさんよくご存知かと思います。信長が作ったということは我々観光の者にとっては非常に良いです。

観光協会では、小牧駅から小牧山までのガイドを行っていて、第2日曜日、第4土曜日に10時出発で行っており、徐々に伸びてきました。貸切ガイドというのが、平成28年4月から11月頃までの数字で600人、平成29年度800名くらいで、3～4割増えている。案内所にありますと、若干ですが続日本100名城で訪ねて来られる方もいらっしゃいますが、そういう方は車でなく電車で遠くから来られます。他の要因もあるとは思いますが、続日本100名城の宣伝をすればもう少し入館者数が増えたかもしれません。これをどう今後使っていくかというところが一つの観点となるかもしれません。

甲冑試着会ですが、愛知県下では豊明市のダンボール甲冑、我々と関係がある長久手市のダンボール甲冑、清須の観光協会の会長さんも甲冑の試着体験をやる側にいます。4月8日のさくらまつりで、仮称ですが、小牧甲冑隊と称して試着体験を計画中でございます。歴史館前で行うのが一番良いのですが、さ

くらまつりのため山頂まで車で上がれないので、麓で行います。ロケーションが非常に良いので、我々観光協会としては非常に良い試着体験で、これからもどんどん活用していきたいと思います。今年は実験的にさくらまつりと信長夢夜会で行います。信長夢夜会は9月で暑いので夕方頃に行く計画をしております。続日本100名城にも関係しております、その枝葉部分という捉え方をしております。もう一つは、甲冑を作れたらどうかということも言っております、ダンボール甲冑が1つ2万円弱くらいで、教室を開いて、愛知県下、各所でやっています。将来、観光協会でもそういったものを作りながらやっていきたいと考えています。

委員長（池田委員）

まずはガイドボランティアですが、歩いてですか、それともバスでガイドを行うのですか。

山内委員

ガイドボランティアは私どもとたぶの木会さんがあるのですが、小牧市観光協会のボランティアとしては、かなりの人数がおりますので、駅に来ていただいた方に前もってインターネットなどで申し込んでもらって、そして連れて行くという形をとっています。団体の方は、第2日曜日と第4土曜日以外で、自由に申し込んでもらって、ガイドボランティアを手配して、小牧山の麓や市役所で待ち合わせたりして案内をしていくということで、団体の方が増えています。

委員長（池田委員）

将来的に望みがありそうですが、この方たちは歴史館には入るのですか。

山内委員

歴史館にも入りますし、市内の観光スポットに寄ってから小牧山に入ります。

委員長（池田委員）

小牧市内の何箇所かを寄ってということですね。

山内委員

今のところ、小牧駅前から小牧山までということを行っておりますが、岩崎山とか他のところもやっていきたい。

委員長（池田委員）

歩いてですか。

山内委員

もちろん歩いてです。

委員長（池田委員）

半日くらいですか。

山内委員

朝10時に出発してお昼に解散という形をとっております。昨年から行っておりますが、来年度からは毎週土曜日10時から行う予定です。

委員長（池田委員）

それが歴史館来館者増につながるのではということですね。もう一点は、甲冑試着体験は去年は2回ずつ計4回なのですが、もう少し増やしたらどうかということで、今年はさくらまつりで観光協会でも行うということなのですね。前から甲冑試着体験は、ダンボールだったのですか。

事務局（清田主査）

試着会ではアルミに塗装をしてあるもので、アルミなので軽いです。

山内委員

アルミの方が高いです。

委員長（池田委員）

甲冑ですから、鉄に近いようで雰囲気が出ますよね。

山内委員

村木さんのところでお借りして行う際には、大、中、小2領ずつ6領あります。大人の方やお子さんに着ていただいて写真をとってもらおうと考えています。愛知県では、忍者フェスティバルというのが11月にありまして、豊明のグループがやっていて長い列が出来ていて、試着して会場内を歩くということをしていました。

委員長（池田委員）

忍者も世界的に大流行で、人がたくさん来るということで、ここも信長で何

か出来るんじゃないかと期待しているのですが、今年は来館者数が減ってしまっていますね。歴史館での、甲冑の試着数は同じくらいありましたよね。

事務局（清田主査）

今年は増やしまして、大人が2領、小人が今は4領あります。

委員長（池田委員）

色はどうですか。

事務局（清田主査）

黄土色や茶色に近い色で、何首烏（かしゅう）というもので塗装をされるそうです。

委員長（池田委員）

赤備えではないのですね。

事務局（清田主査）

女性の着付けの方が赤の胴ですが、試着用は赤備えではなくオーソドックスな色です。

委員長（池田委員）

赤備えが今流行ですから、どうかなと思ってお聞きしました。

山内委員

あれは井伊とか武田ですね。

委員長（池田委員）

昨年の秋頃にアシガールという、漫画から実写版にしたものがあり、その中で赤い甲冑を着ているそうです。女の子たちにすごく流行って、赤い甲冑を着たいと言ってすごい人気だそうです。あまり詳しくはわかりませんが。

山内委員

小牧山にも井伊がいた関係で、赤備えはあったわけですね。

委員長（池田委員）

次回作られる時は是非検討してみてください。

和田委員

月別の入場者数で、今年小牧山の現地説明会がありましたよね。何月でしたか。

事務局（浅野係長）

11月19日の日曜日に行いました。当初は18日土曜日でしたが、雨でしたので順延しました。当日は400名ほど来ていただきました。

和田委員

山頂まで上がるのは大変なので、好きな人でないとなかなか上に上がる人はいないんじゃないかと思います。目玉というものを新聞紙上で広報されて、小牧だけでなくいろいろなところで、こういった説明会を行いますよと言えばたくさん上られる。せっかく上がったんだから歴史館にも入ろうかと。そういう方がこれからの入場者数というものの受け皿になるのではと思います。イベントは一時的なもので、その後、例え一人でも継続しないといけないですよ。魅力的なものがあれば、信長気分の上ってみようかと。どうしても小牧と関係のない方は眺望を望まれるのではないかなと思います。

委員長（池田委員）

発掘の説明会は小牧のホームページでお知らせしているのですよね。興味のある人はそれをチェックしていらっしやると。その人が、発掘の話は聞くけど歴史館へはどうなのでしょう。

事務局（清田主査）

調べてはいませんが、感覚的にはあまり来られない。

和田委員

レベルが違うんですかね。興味を引くという。

西川委員

初めて来る人は入るけれど、マニアの人たちは説明会に毎回来ていますよね。

事務局（清田主査）

説明会はリピーターの方が多いですね。

西川委員

史跡センターが完成した後、どうタイアップするかということにも関係する



のですが、アンケートで、年齢やどこから来たかといった統計をとることで、歴史館に来る人、来たいと思う人の年齢層のターゲットを調べることも手だと思います。数はもちろん大事だと思いますが、減ってもこの年齢層は確実に来ているだとか。上に上がる魅力というものを、史跡センターとセットで考えていかないと、史跡センターを見て満足して、歴史館に上がるのは疲れるという理由で終わらせるのではなく、歴史館まで上がって、史跡センターとは違うといったことを示していかなければならないと思います。

委員長（池田委員）

また後ほどその話題にも触れていこうと思います。

事務局（浅野係長）

資料1をご覧いただいたとおり、平成29年4月から軒並み来館者数が減っており、何が原因なのかというところで事務局でも考えましたところ、一つは天候というのが大きな問題でもあるんですけども、昨年一年間を見ていても、それほど大きく天候が崩れたということはない。たまたま信長夢夜会や市民まつりで台風が来てといったことはありますが、全体的に見ると例年と比べてそれほど崩れたということはありませんでした。では何かというと、一つは平成25年に小牧山城築城450年ということを行いまして、それを契機に小牧市でも信長を、あるいは小牧山城をPRしてきました。発掘調査でもいろいろな成果があって、テレビや雑誌などいろいろなところに取り上げていただいて一時期はかなり盛り上がったというところはあるのですが、それが減少傾向にあるのかなということと、今年度が、信長が岐阜に移って450年、岐阜の方で入城450年ということもあり、信長のブームというのが小牧から岐阜に移っているということもあるのではないかと考えています。先ほどおっしゃられた続日本100名城ですが、今年度4月に認定されました。日本城郭協会が日本100名城のスタンプラリーというものがありまして、ガイドブックがあり、それに100名城のスタンプを押してまわるというのをやっている。かなり人気があるいろんな方が全国のお城をまわるというものなのですが、続日本100名城についても今年の4月6日の城の日からスタートということでスタンプラリーが開始されます。そうしますと続100名城を目指して全国から多くの方が来ていただけたらと思いますので、今はだいぶ減っているのですが、今後入館者数も増えるのではないかと考えています。西川委員からもご指摘がありましたが、史跡センターの整備の方も来年度以降やっていくんですけども、そこの関係というのは当然必要であって、史跡センターを見て終わりではなくて、歴史館にも行っていただけるようなつながり、例えば先ほどおっしゃられた観光協会のボランティアさんと小牧駅から史跡センターまで来て説明を受け

て、山頂まで上がって、山頂には何があるかという展望もありますし、信長が造った本物の石垣というものがありますのでそういったものを見ていただくとか、共通入館券、連携した企画展といったものをいろいろ考えていくことで史跡センターと歴史館を一体としていろいろ仕掛けていくことによって入館者数を増やしていかなくてはいけないと思っています。今年度につきましては今申し上げたような理由で若干減っておるのかと思うのですが今後の課題としていろいろなものを取り込んで増やしていきたいと思っています。

委員長（池田委員）

甲冑の試着会は盛況ですが、それを除くと減っているというようなのですが、離れたところの者からするとどこから上ったらいいのによく聞かれます。高齢者の方がご自身で上れるコースなどがあるのか。きちんと表示はされていると思うのですが、例えば小牧駅のところで小牧山のルートの紙があつたりもらえたり。京都だとマップが置いてあつて勝手にもっていきなさいとしてあるので、土日などに小牧山に上ろうと思ったときに同じように置いてあるといいなと思います。

山内委員

置いてあります。

委員長（池田委員）

置いてあるんですか。わからないという声が多いので、どうしてないのかと思っていたのですが、もう少しうまくリークするといいかないと思いますし、リークしていないところが問題かなと思います。さくらまつりの時は多くの方がいらっしゃると思うので、それ以外に見ていきましょうとか来年度がんばっていただきたいですね。

山内委員

観光案内所にもルートマップや小牧山のパンフレットを置いてありますし、鵜飼さんという観光ボランティアさんが大体毎日のように小牧山におりましてそのパンフレットを配っておりますのでルートについては、みなさんにかなり説明をしているのでわかっていらっしゃると思います。

委員長（池田委員）

そこに行き着けない人たちがいることを知っていただければと思います。

委員長（池田委員）

続きまして、報告（２）「小牧市歴史館の企画展示について」事務局からの説明を求めます。

事務局（清田主査）

（資料２に基づき報告）

委員長（池田委員）

ありがとうございました。昨年の企画はまず「ひなまつり」、「小牧山の花」というメナード美術館との連携企画、そして夏休みのところで、「小牧山歴史探検」、「小牧山の歴史」ということですがいずれも入館者数が減少ということでこれについて何かご意見はありませんか。事務局の方で減った理由というものを考察はされましたか。

事務局（浅野係長）

特に個々については比較はしておりません。昨年度の同時期の来館者数を比較するとそれぞれ減っているということですので、全体を通してお話させていただいた理由で歴史館自体の入館者数が減っているということで、企画展を行ったとしても入館者数は減っているということを考えております。

山内委員

続日本100名城に選ばれたということで、小牧市観光協会としてお城 EXPO に出て PR をしてきました。愛知県観光協会と組んで、犬山城、小牧山城、岡崎城、稲沢の勝幡城で出ました。名古屋城は単独で出ました。大体2万人くらい来る。そこでアンケートがあり、小牧山城はあまり知られていない。なぜかという歴史上飛んでいるから。小牧山にも4年間しかいなかったの、全国レベルで飛んでいる。大河ドラマでもなかなか出てこない。吉乃の物語でさえも悲劇的な部分が多いので、あまり目立たない。全国レベルで売らなければならないということで、初めて行ってきまして、非常に勉強してきました。そこで愛知県ブースで来場者アンケートをとってきました。30代が15%くらい、40代が32%くらい、50代が20%くらいでこのあたりが中心になっています。簡単に説明しますと、お城めぐりについて、行ったことがあるところの一番は名古屋城、次が犬山城、清洲城、長篠城、小牧山城の順番です。行ってみたい場所というのが、犬山城、小牧山城、清洲城の順となっており、裏返すとやはり小牧山城は行ったことがないということになります。お城で何に興味があるかという、やはり天守閣、二番目が石垣となります。小牧山城はお城というより石垣が売りなので、石垣をいかに売るかというところです。たまた

ま小野さんが作ってくれた資料・パンフレットを持っていきましたが、すぐになくなってしまったという状況です。また、このイベントのために作った版面を来場者の方にお土産代わりに差し上げたところ、結構人気があり、今もお分けしているところです。小牧に来た人はこういったものを欲しがると思いました。今の企画が悪いとはいいませんけれども、お城に関係のあることをやると、人が来るのではないかと思います。

委員長（池田委員）

昨年は飽きたということが多いのかもしれませんが、新しい視点を持たないということですね。お城のパンフレットのように、ここに行ったらこれももらえるといったお土産があるといいですよ。甲冑は着て写真を撮れますが、花ではちょっとと思いますので、またご検討ください。

それでは議題（1）「平成30年度小牧市歴史館企画展（案）について」事務局からの説明を求めます。

事務局（清田主査）

（資料3に基づき説明）

委員長（池田委員）

それでは企画展示についてのご意見をいただきたいと思います。何かありますでしょうか。

秋の企画展示の企画の意図をお願いしたいのですが、歴史館開館50年前の様子と昭和の暮らしの展示とありますがどちらが主になるのですか。

事務局（清田主査）

まだ具体的には決まっておられません。

委員長（池田委員）

来年から歴史館の雰囲気が変わるのであれば、歴史館50年の歩みみたいな形にするほうがはっきりしていいのではないのでしょうか。それか歴史館が生まれた時の小牧にするかどちらかにしないと、中途半端になる気がします。あのスペースで両方は無理だと思います。歴史館が生まれた時の小牧の様子というのはできるかもしれませんが、歴史館50年の歩みとして小牧の写真などを展示して総括のような形にしたほうが良いかと思います。史跡センターがオープンするので、来年は生まれ変わりますよみたいな形でまとめられるかと思っています。

#### 山内委員

歴史館まで上がって見る企画になるのかどうか。50年前の小牧についての展示は市民会館などでやればいい。客寄せ的なことになるのかどうか。全般的に地味だと思います。お城の何周年記念なので、小牧山には多くの武将がいてその武将たちはいろんな城を持った。井伊直政が小牧にはいたので、赤備えを展示したりしてここにはこういう武将がいた、そして関ヶ原でも活躍して手柄を挙げたんだということをすれば、上まで来てよかったなということになる。企画展を否定はしませんし堅実でいいのですが、わざわざ上まで行って見るかどうかということを思いました。後ほど話に出るかと思いますが、史跡センターとの住み分け、続日本100名城だから言うわけではありませんけれども、住み分けをはっきりしておかないと、我々もまた城EXPOなどで宣伝したいけれど、小牧山城来たけど全然おもしろくなかったよと、小牧山城があるのかないのかわからないけれども、小牧山城をどう使えばいいのか、小牧城であり小牧市歴史館、また、小牧市歴史館（小牧城）と言ったり、小牧城とは言わなくてもいいかもしれませんが、いわゆる小牧山城をどう使っていけばいいのか、もう少しメリハリをつけるべきです。3本のうち1本は武将関係の展示をやればいいのかという意見です。

#### 委員長（池田委員）

今後の歴史館に向けて先に方向性を見せてしまいたいという形ですよね。名古屋は徳川家康が作った城下町なので少し違うんですけども、信長の下にいた武将たちは今全国区になったんです。例えば、池田もそこから岡山に行っているわけです。全国区になっているというところをもう少し言えばいいところを、名古屋市も言わない、小牧市も言わない。

#### 山内委員

愛知県は77%排出していると言っている。

#### 委員長（池田委員）

それは観光協会がですね。名古屋市は秀吉が生まれたというのも嫌がる。小牧山はお城なんだから、いろんな武将が集まって何かしたんじゃないのですか。それは歴史的になかったのですか。

#### 事務局（浅野係長）

もちろん信長が小牧山に城を築いた、小牧・長久手の合戦で家康や秀吉もいたところではあります。歴史館が50年という記念なのですが、史跡センターとの住み分けというお話がありましたが、史跡センターは小牧山の情報発信拠

点、逆に言えば小牧山のことしか紹介できない。歴史館というのは市内の歴史を紹介するところというのがありますので、逆に言うと、信長や城以外のこと、民俗やまつりであったりを紹介する唯一の施設であると思います。報告のとおり、昨年も信長のお城ということでやってきたわけではありますが、歴史館が50年というところであえて、信長とは違うところで何かないかと。ただ、やるとしてもネタ切れといいますか、当時の様子の展示となると年表パネルを作って終わり。そうなる就先ほどおっしゃられたとおり、お客さんは全然来ていただけないというところもあり、苦し紛れではあるのですが、50年前の頃の小牧の暮らしということで当時使っていた民俗資料などを展示して盛り上げようと思っています。ただ、それが弱いことも十分、分かっています。信長、秀吉、家康での展示をすればもう少しいいものもあるかもしれませんが、なかなか館の都合上良いものを借りてきたりとか、所蔵品もないものですから、例えばそういったものをなくした状態で、歴史館50年という中でどういった企画展であればお客さんに来ていただけるのかということをご意見としていただけるとありがたいなと思います。

#### 委員長（池田委員）

歴史館開館50年を言いたいということがわかりましたので、その見せ方の問題ですね。何と一緒にあればお客さんに来てもらえるのかということですね。出来た当初というのは何もなかったところに城が出来たんですよね。民俗資料の展示だと市民の方にはいいかもしれませんが、全国区ではどうかと。どこをターゲットにしているのか。市民の方だけでもいいんですよ、人数が減らなければ。例えば昔の市役所を見て懐かしむのは高齢者ですよ。高齢者の方を中心になるべく多くの方に来てもらいたいのであれば、生活用具でなく、小牧山には昔、市役所がありましたよね、中学校もありましたよね。そういった高齢者が懐かしむような展示であればそれなりに入るのではないかと思います。いかがでしょうか、観光協会の方からすると。歴史館50年の歩みを語りたいそうなので来ていただける方法というのは何かありませんか。小・中学校はどうでしょうか。

#### 和田委員

先ほども話しましたが、あまりにも高齢者の方は上れないのではないかと思います。今の歴史館が出来る前は展望台しかなくて、トラックでも行けたし。その頃には礎石みたいなものも転がっていたような、小さい頃、石がごろごろしていてそういったイメージがあったところでした。

### 委員長（池田委員）

私は小牧山のお掃除に来たことがあります。親戚がこちらにいて、お掃除会ということで掃除をさせられた覚えがあります。それは小牧山に限りませんが。

### 西川委員

歴史館の50年ということで、50年のスタートの頃と限定してしまうと歴史館とつながりがあるという上で意味はあるけれども、お客さんを呼ぶかという点で弱いと思う。懐かしさという点では、例えば、以前に講座をした時に、市制になった直後に東海ゴムの社員として小牧に来た人が、その当時の話をしていた。春に小牧山に上ったら、南側がモザイクのように畑があった。あるところは花が咲いていてあるところは植え付けがまだだとか。工場誘致条例などで小牧に人がたくさん増えて、そこで小牧を知る人がそういった話をされる。それは小牧の歴史の流れだとか、今後どうタイアップするかによりますが、山頂から見た小牧城下町みたいなものの歴史を見ると、永禄時代にはしっかり整備されていて、国の歴史から見ても城下町の計画的な配置はすごく重要ですよね。それを上から俯瞰しながら現在と照らし合わせる。昭和の頃の写真があると一番良いのですが。50年に限定するのではなくて、少し昔を懐かしむ、昔からの小牧山城の周辺のことにも触れられるようなそういう映像も入れることが出来るといいかと思います。来年は史跡センターを完成させるのに必死だと、そして、歴史館の展示物の配置替えますよね。そうすると、部分的に改装もしなくてはならない。そのような品数が減っていく中で、企画展によってお客さんをどの程度呼ぶかということに対して高望みしなくてもいいのではないかと思います。史跡センターが完成後、どう生かすかということこれから検討しながら準備していく。その中で、上まで上がろうと思ってもバリアフリーになっていない。歴史館の展示替えをする時に新しく予算を組んでミニエレベーターみたいなものを作ったらどうかと。要するに誰でも山頂まで上がれて市内を見られるように。今後の方向性として生かしていけるような改修をと思います。

### 和田委員

お話を聞いていて、歴史館50年ということで、目玉が必要になってくる。極端なことを言うと、歴史館が出来て一番興味を惹かれたのがしゃちほこなんです。しゃちほこを下ろしたらすごいなと。そんなことが出来るかどうかはわかりませんが、あれがあるだけでみんなびっくりしまして来るのではないかと思います。

委員長（池田委員）

お掃除のためという理由などでも。

事務局（清田主査）

しゃちほこの北側はまだ金箔が残っています。南側は全て剥がれてしまっているのですが。

委員長（池田委員）

下ろせないのですか。

事務局（浅野係長）

下ろすのにすごくお金がかかります。

委員長（池田委員）

犬山城は大変でしたもんね。

山内委員

1, 000万円です。

委員長（池田委員）

張りぼてでもいいかもしれませんね。ダンボールとか。サイズがわかると面白いかもかもしれませんね。こんなに大きいんだよという。何度か言っていますが、50年前のことがやりたければ、西川委員が先ほどおっしゃったように、50年前の風景を描いて、展望室のところで、昔はこうだった今はこうだった比較ができるだけでいい。アクリル板か何かに景色を描いて東西南北に貼る。そうすれば今と昔を見比べることが出来て、それだけで随分とお客さんはいらっしゃると思いますけれども。プロジェクションマッピングはもうやらないのですか。

事務局（浅野係長）

すごくお金がかかりますので。

委員長（池田委員）

出来ますよ、うちに持ち込んでいただければ、プロジェクトでありますから。学生が明治村などで安くやっています。お金がないというのであれば、お互い助け合いながらやればと思います。それは別として、今と50年前が自分の目で比べることができるということが出来れば本当にいいと思います。企画展



は、50年の展開ではなく、50年前はこうだったという企画を考えるということによろしいですか。

西川委員

50年に限定しなくてもいい。昔の小牧山というくらいで。

委員長（池田委員）

半世紀で小牧はこんなに変わったんだということが誰でも体感できると思います。

西川委員

それは山に限らずですか。

委員長（池田委員）

一番いいのはそこから見える景色です。市役所も見せればいいし、小牧駅でもいい。懐かしいと同時にこんなに変わったんだという、若い人たちがその変化を学習できるといいですね。小牧の街、私たちの街という、3年生の授業でもいけるようにがんばってください。

議題（2）「小牧市歴史館展示改装（案）について」事務局から説明を求めます。

事務局（浅野係長）

（「資料4」に基づき説明）

委員長（池田委員）

1階のスペースについてですね。

事務局（浅野係長）

主に1階の空いたスペースをどうするかということで、無料のスペース、あるいはトイレを自由にということを考えておりますけれども、こういったものがあつたほうがいいのではとか新しいものでもいいですし、逆にこのコーナーのものをここに移したらどうかといったいろいろな意見をいただければと思います。

委員長（池田委員）

まずトイレなのですが、無料のところがありますが、有料の人は先にトイレに入ってもらおうということですか。

事務局（浅野係長）

入口入ってすぐ左に受付があります。そこで入館料を払って入っていただくわけですが、そこにポールのパーテーションを置いて、有料の人はこちらということで案内をする、無料の方はそのまますぐ右側を進んでいただくような形でまずは仕切りをしようかと思っています。トイレも行きたい、展示も見たいという方には、一旦出ていただいて、お金を払ってから行ってもらうということになります。入るところで左右に振り分けていきたいと考えています。

委員長（池田委員）

空いたスペースに現在考えている何とかコーナーというのは。

事務局（浅野係長）

展示のスペースの都合で、西側に小牧山コーナーとして置くことを考えていますけれども、そうすると今ある平松氏コーナーですとか大きな甲冑ケースというものの置き場所がない。こういったものを2階、3階に持っていくということも大きいものなのでできないので現状のまま置いておこうかと思っています。東側のところに什器新規制作、モニター薄型55インチとありますが、これがこれまで3階にあった、ボタンを押すと小牧のまつりですとかそういったものを紹介するものですが、ここに移設をして新たに作ってご自由に見ていただくということを考えています。また、この無料エリアにつきましては、今後歴史館での企画展の際に会場として利用しようと考えています。その場合はここに関しては壁を作るなりして平松氏コーナーのところの柱をラインとして仕切ってここから有料エリアということをしていかなければならないと思っています。

委員長（池田委員）

ここに常設的にイスとか自動販売機とか置くということは考えていないのですか。

事務局（浅野係長）

図のほうにも描いてありますが、小牧市紹介映像3タイトルボタン選択と書いてあるところにイスを表してありまして、そして館内入口南の方に自販機も置こうと考えています。

委員長（池田委員）

観光協会のほうから何かありますか。

山内委員

お土産や小牧山城グッズだとかは売れるのか売れないのか。甲冑を入れ替えたりとか織田木瓜でもいいし、家康でもいいし、そういった雰囲気があったらいいなと思います。歴史館まで上がってきて、外を見ると天下を目指した信長のことがわかるというようなことがあるといいです。我々にとっては、上まで行くと小牧山城グッズが売っているよということが言えるかどうか。

委員長（池田委員）

史跡としてそういったものを売ってもいいかということですよ。

山内委員

市から補助金が出るように観光グッズを作るのですが、そうした時に歴史館に置いてもらえるかどうか。

委員長（池田委員）

小牧って春日井のサボテンみたいなものはないのですか。

山内委員

名古屋コーチンです。発祥の地ですよ。愛知県の畜産総合センターの種鶏場が安城から移転してくることが決まりましたので、発祥の地に種鶏場が出来るということでここはコーチンの村という。

委員長（池田委員）

名古屋コーチングッズもいるんじゃないですか。

山内委員

名古屋コーチン関連グッズはありますので。カステラとかいっぱいありますのでそういったものが売れるかどうかということです。

事務局（浅野係長）

物販に関しては、今でもダンボール甲冑を観光協会で売っていただいて、その場合手数料を支払ってという形でとっていますけれども、逆に観光協会さんで作られたグッズを売るというのは市の施設で売ることになりますから、取り決めとして出来るかどうかということは検討させていただきたいなと思っています。物であればいいのですが、例えば食べ物となりますと品質の管理ですとか、売れなかったらどうするのかとかということもありますので、基本的に飲食関係のものというのは常時というのはどうなのかなと。それなりの冷蔵庫な

どの設備などがあればいいのですが、常温で置いておいても問題のないものであれば場合によってはいいかもしれませんけれども、そういったことも含めて検討しなければならないと思います。ただ、おっしゃられたようにお土産が何もないのはというところで、歴史館のグッズは売っていますが、あくまで歴史館のPRのためのもので、小牧市歴史館と入ったタオルだとかクリアファイルだとかを売っていますけれども、特に市をPRする、観光をPRするというものを売っていないものですから、今後史跡センターが出来て歴史館も来られてとなった時におもてなしといった意味ではそういったものも必要なかなと思っていますので検討させていただきたいと思います。名古屋コーチン発祥の地のお話が出ましたが、歴史館の中では紹介が出てこないということもありますので、それも一つPRとして小牧の歴史の中では必要なものかなと思いますし、あつてものいいのかなと思います。

委員長（池田委員）

名古屋コーチン販売ウィークとかはやるんですか。

山内委員

愛知県知事の大村さんが農林水産省の出身なので、働きかけて3月10日が名古屋コーチン記念日になりました。

委員長（池田委員）

3月10日の記念日には何も企画はないのですか。

山内委員

昨年から記念日になり、今年で2回目です。名古屋コーチン協会や我々や岩倉市や愛知県が中心となって一環としてやれればと思っています。

委員長（池田委員）

それはいいかもしれませんね。デパートなんかで物産展をやるように、ここで小牧の物産展をやるみたいなことをすればそれはそれで。手数料の問題は置いておいて。

山内委員

ここで売れるかは別として。

委員長（池田委員）

売ってもいいということであればそういうこともすれば、あそこで物産展が

やってるから行きましようかということも出てくるかと思って。

山内委員

それは史跡センターも同じで。

委員長（池田委員）

史跡センターでは売れないんですよ。あそこは物販ができないので、売れるとしたら歴史館しかない。中国からのバスが来てたくさん人が来ても。

山内委員

お土産にいいものがあれば上がってくるものですから。

委員長（池田委員）

家紋の入った甲冑を置くということですが。

山内委員

小牧山を訪れているので、3つか4つこんな人たちがいたよというような甲冑を作って置いておく。

委員長（池田委員）

描いてしまえばいいじゃないですか。そうすればスペースも広がるから、壁にそういう人たちをイメージしたものを描いてしまえばいいし、そのほうが楽。

西川委員

ただはっきりした史実として、小牧山のどここの曲輪に家臣団の有名武将がいてというのがわかっていれば、絵をPR材料として出せるけれども。

委員長（池田委員）

でも佐久間はいたんですよ。

山内委員

もちろん小牧山城にいました。そして家康軍団の小牧・長久手の合戦の際の武将などが、例えば井伊直政が小牧山に陣をとったわけです。

委員長（池田委員）

家臣団と小牧・長久手の合戦の時の陣でどういう人がいたのかがわかってい

れば、その家紋だけでも描いておけばいい感じになる。何もなくて白い壁よりも。

西川委員

2階の小牧・長久手の合戦の時の武将や配置だとか合戦絵図なども解説などをいれながらある程度紹介はされている。

委員長（池田委員）

1階を見て、じゃあお金を払って見に行こうかという気分になってもらわなければならぬでしょ。

山内委員

小牧・長久手の合戦は史跡センターに移るんですよね。

事務局（浅野係長）

紹介はしますけれども、展示としては歴史館は映像コーナーということで残ります。

委員長（池田委員）

家臣団たちと小牧・長久手の合戦というところを見せて、詳しくは2階でとっておけば入りますよ。

山内委員

それか信長のことだよ。やはり小牧山城の紹介をしなくちゃね。

委員長（池田委員）

家臣団は城の中に住んでいたんですよね。住んでいた人たちの家紋みたいなものを置いておいて、家紋あてゲームみたいなことをやってもいいし。全体像はわからないし、顔も描けないし、年齢もわからないからということで、古代のロマンに引っ張られそうな雰囲気をごそこで作ってしまえば、じゃあ上も見ていこうかと、100円のことですから。

山内委員

上は信長を中心に紹介して、下は小牧・長久手の合戦を中心にしてといったように、小牧山城を露出してほしいなという気がします。そうすると上に上がってください、おもしろいよと宣伝が出来る。

委員長（池田委員）

それで4階には信長の城下町のイメージがありますよみたいなことが言える。入館料は100円で変わらないですよ。

事務局（浅野係長）

今のところは。

事務局（池田委員）

100円なら行っちゃおうかという気分になりますよね。そういう引っ張れる要素があると。

事務局（岩本課長）

見たくなるような雰囲気作りをすればいいということで。

委員長（池田委員）

ただ白い壁とイスということではなくて。

山内委員

1階は無料で入れるわけですから。

事務局（浅野係長）

その1階の東半分については無料ということですよ。

山内委員

それなら上は行かないかもしれませんね。民俗とかなんかの紹介をしているのであまり入らないかもしれないですね。

委員長（池田委員）

上は展望ができるということを強く訴えるようにしていかないと。

西川委員

さっきちらっと言ったハード面で、ここで展望の階までミニエレベーターを作ることは可能かどうか。

委員長（池田委員）

要するにバリアフリーの考え方をどうするかということですね。

#### 事務局（浅野係長）

和田委員からも先ほどお話がありましたように、まずは山頂まで行くことが出来ない人がいるということで、史跡整備をしていく中で、申し訳ないですが歴史館の中でバリアフリーは考えていません。入口から階段があつて館内も階段であるということで、ただ、下の整備とか旧小牧中学校のところはバリアフリーを考えてということがあるんですけど、史跡センターについても館内はバリアフリーということではいろいろやっているところです。そもそもの考え方で、言い方は悪いですが、そういう方は上まで行けないだろうという考え方で館内のバリアフリーは考えていないです。

#### 西川委員

前に話しましたが、地下エレベーター。要するに歴史館をバリアフリー化するというのが目的ではなくて、そこにつなげるエレベーターとセットにして工事をする。お金はかかるけれど。アンケートをとると、小牧で何を連想するかというと小牧山は小牧市民にとって断然トップ。逆に言えば小牧にとって売りでありトップであり、ある意味それしかない。ということはあそこに市民を含めてより多くの観光客に来てもらうという努力ができないかということで考えると。前に話した時には、地上に出る時にそこに人工物があつてということだけでも、歴史館の真下しか行かないよねということを書いていたので、その案もあるなど。

#### 委員長（池田委員）

それは難しいのでクラウドファンディングなんかで資金を集めてください。小牧山に直通エレベーターを作るという。

#### 山内委員

今回初めて11月1日に40名近くの旅行会社の方に小牧山にあがってもらいました。そこでアンケートをとりました。これは商品になるかと。そしたら0人でした。なぜかというと雨の日対策がないから。雨の日には小牧山に上がれない。足が汚れてしまう、危険であるということで0人でした。そうなると一般客の方はじゃあ犬山城へ行こうかと。そこはどんな格好をしても上まで行けるから。ですが、小牧山については旅行会社の方はお客を歴史館まで連れて行かない。保険もかけなきゃいけないし転んだりするしぐちゃぐちゃになるしという答えが出たので、この対策をどうするか。テーマ観光であればそれを承知で来ているのでいいのですが、どう広げるのかというのが基本的な問題。歴史館をどう扱っていこうか、確かにいいんですよ、眺めもいいし。ただ、どこまでセールスするか。しかしこれは次の話です。まずは雨の日対策をしてち



やんと上がっていけるかという。いわゆる市のおもてなし、観光のおもてなしにするかどうか。史跡センターができればどんどん入っていくでしょうから大丈夫。社会見学でもなんでも。子どもとか高齢者とかを連れて行けるかというところという答えが残念ながら出る。

委員長（池田委員）

確かに雨の日にハイヒールを履いて上まで行けないです。普通の人はハイヒールで来ますもんね。

山内委員

こんなところに連れてきてなんて文句が出ちゃう。

委員長（池田委員）

そういう時は市役所の6階からご覧くださいと。

山内委員

なので雨の日はどうしても行程からはずすというようになってしまう。

委員長（池田委員）

雨の日は市役所の6階からご覧いただきましょうと。市役所の6階だけずっと行けるように開放してもらって。花見の時、夜桜を6階から見るとすごくきれいですよ。

西川委員

6階までは行けるから、そのPRだとか周知度がどうかという。

池田委員

今は誰もしない。将来はこちらもくっつけて見せなきゃならないし、今度は向こうからの景色も見たいなと思う。さくらまつりの時には6階の食堂からご覧くださいと一言書けばみんな上がっていく。そうすればその時期だけ食堂も潤うと考えられますので。

企画と新しく移転する時の案についてはよろしいでしょうか。それではここまでで議題の2が終わりましたので、続きましては次第の6「その他」についてですが何か事務局からありますでしょうか。

事務局（浅野係長）

特にはございません。

委員長（池田委員）

委員のほうから連絡、報告はありませんか。先ほどたくさん報告をいただきましたのでよろしいでしょうか。

では、全ての議題の審議が終了しましたので、進行を事務局へお返ししますので、よろしくをお願いします。

事務局（浅野係長）

慎重なご審議どうもありがとうございました。

これをもちまして、平成29年度小牧市歴史館運営委員会を閉会いたします。

どうもありがとうございました。

（午後3時10分閉会）